

## 大阪府医療審議会病院新增設部会意見書

平成30年2月7日に審議した下記議案については、全委員一致で下記のとおり承認されたので報告する。

## 記

## 1 承認された議案名

第1号議案 「住吉市民病院廃止に伴う病院（医療機能）再編計画（案）について」

## 2 部会意見

○本再編計画（案）については、賛成の方向で大阪府医療審議会へ報告する。

○再編計画（案）の実施にあたっては、平成30年1月24日開催の大阪市南部保健医療協議会における附帯決議及び決議を尊重すること。

○診療所については、市立大学附属病院の新病院完成までの間、大阪市として市民病院機構と協議しながら、地域の医療ニーズの変化に柔軟に対応し、必要な医療が提供されるよう努められたい。

## 3 出席委員からの主な意見

○今後、小児・周産期医療の集約化を進めることは必要であり、大阪急性期・総合医療センターへ97床を移管し、高度な小児・周産期医療に対応するという本再編計画は評価できる。

○診療所における診療コマ数の増加や福祉的な相談窓口の設置など、診療内容を充実するよう大阪市は努力すべき。また、診療所と大阪急性期・総合医療センターとのアクセス改善についても検討すべきである。

○本再編計画（案）の内容については、住民に対して丁寧な説明を行う必要がある。

○新病院誘致については、実現性に懸念もあるが、地域に必要な小児・周産期医療を提供できるよう大阪市が責任を持って計画をとりまとめ、早期に住民に説明をする必要がある。また、完成までの期間を可能な限り短縮化できるよう検討すべきである。

○民間病院誘致の失敗は大阪市の責任であり、このような事態を招いたことを反省すべきである。また、大阪市健康局長から謝罪の言葉があったが、誘致失敗の原因については、分析して説明すべきである。

平成30年2月15日

大阪府医療審議会病院新增設部会  
部会長 中尾正俊